



少年錬成会の様子

第30回埼玉県合気道連盟少年錬成会

浦和合気会 天海江里子

彩の合気

発行 埼玉県合気道連盟

平成27年4月19日、岩槻文化公園体育館に於いて、第30回埼玉県合気道連盟少年錬成会が開催されました。体育館のある岩槻文化公園は、室内の競技・武道施設が完備された体育館の他に、陸上競技場やテニスコートのスポーツ施設も充実しています。また「つどいの広場」・「散策の森」など緑に囲まれており、この季節は桜も満開です。近くには元荒川があり、季節の風が通り抜ける自然豊かな場所です。

今年の少年錬成会の参加団体は12

団体、参加者は151人でした。合同稽古では正面打ち一教・片手取り四方投げ・正面打ち入り身投げ・片手取り小手返し・座技呼吸法を稽古しました。参加した子供達にとっては、普段稽古していない他道場の仲間との稽古は良い刺激になったのではないのでしょうか。合同稽古の後に団体道場演武会が行われました。皆元気よく演武されていて、また、各道場での稽古の様子などを演武を通して見ることができるとは、演武会の楽しみです。

今回、私は総合指導の機会を頂きました。参加した子供達の活気溢れるエネルギーと、真剣な緊張感を身近に感じながら稽古をすることが出来ました。稽古の途中では、一組づつ中央に出て技を復習してもらいました。最初に「取り」「受け」を決めなかったのですが、どの子供達もお互いの「あ・うん」で技に入ってしまったのを見て、日頃の稽古の中で、合気道の技と共に「合気」の心も学ばれているのだと感じ、とても印象に残りました。

最後になりましたが、今回は浦和合気会が主幹道場でした。畳敷きなど、参加された関係者の皆様にはご協力を頂きまして有難うございました。



全日本合気道演武大会 での演武を終えて

ビタース合気道クラブ 遊谷吉郎

私は大学入学と同時に合気道部に入部して合気道を始めました。全日本合気道演武大会には、学生の頃から団体のうちの一人としては出場してきました。また、各所の演武会で師範の先生の受けを務める機会も何度もありましたが、全日本の舞台で自分が指導者演武で取りというのは、やはり格別のものでありました。

以前、ビタース合気道クラブの大北師範から指導者演武に出場する意思を聞かれた際、何年か後に出場出来るかも知れないな、といった程度の考えて、まずは埼玉県合気道連盟への推薦をお願いしていました。それが、忘れていた頃に今年出場させていただくことを知らされ、はじめて事の重大さを認識しました。今さら辞退などできるはずもなく、埼玉県の代表として演武させていただくからにはベストを尽くさなければ

ば思いました。

特に準備はせずに、その時に出てきた技で演武できるのがあるべき姿かもしれません。もちろん私にそれができる自信はありませんでした。まずは、受けを心強い2名の方にお願ひし、演武場の広さ、演武時間、入退場に至るまで本番さながらの練習を繰り返しました。

さて、本番では係の方が丁寧かつ的確に誘導してくれたこともあり、リラククスして演武に臨むことができました。緊張感もほとんど無く、練習した通りに淡々と演武できたようです。多少の緊張をしてもよいのではないかと後になって思いました。が、神経が因太くなったというより、平常心を維持できるようなことになったのだ、と良い方に解釈することにします。

日々、弛まず地道に稽古すること

は当然ですが、試合がない合気道においては自分がどれほど成長したのかを確認するのは難しく、果たして自分は進歩しているのだろうかと感じていました。そんな時に全日本の演武により、自分を見つめ直す機会をいただけたと思います。今は演武の動画を何度も見返しては、反省するとともにさらに精進しようという気持ちを新たにしています。

最後になりますが、埼玉県合気道連盟の皆様、大北師範、受けをとっていただいた末武さん、松山君、そしてビタース合気道クラブの皆様にご感謝いたします。



新 加盟道場紹介

【坂戸市】 坂戸合気会



坂戸合気会は、岩切光作師範が本部道場指導部を退職後に、植芝吉祥丸二代道主の承認を得て昭和51年に設立されました。以来ほぼ40年にわ

たり、坂戸市において合気道の普及をおこなっています。

現在の会員数は女性も含めて20名です。坂戸市を中心に、鶴ヶ島市や吉見町、毛呂山町など近隣の会員で構成されていますが、岩切師範が東京商船大学（現東京海洋大学）で師範をしていたこと、また武蔵大学合気道部を設立したことなどにより、当時の教え子たちが草加市や練馬区などから稽古に通い、坂戸合気会会員の稽古指導にあたっています。

稽古は岩切師範の指導のもと、毎週日曜日の午前10時から12時までの2時間、坂戸市総合運動公園内の柔道場に於いて行われており、「不断の稽古」を根本姿勢として、基本技を中心に稽古を積み重ね、「争わなしい心、和合の精神を涵養し、不動の心を養成する」ことを目指して励んでいます。

坂戸合気会は、対外的な活動は特段おこなっていないものの、長年、

岩切師範の下で修業を積んできた磯部三男六段が坂戸合気会を卒業して長崎市に合気道悠歩塾を設立され、長崎という遠隔地でもあり、道場間の頻繁な交流は難しいのですが、会員個人のレベルで、坂戸合気会と長崎・合気道悠歩塾の交流稽古が徐々に始まりつつあります。

またスリランカに合気道を広め、現在同合気会の顧問を務めている米ノ井正六段が坂戸合気会にて指導に当たっており、昨年度は本部道場に稽古留学中のスリランカ合気会会員が坂戸合気会にて稽古を行い、今年もスリランカ合気会会員との稽古が予定されています。これらの交流稽古は坂戸合気会会員にとって大きな刺激となり、また得難い経験ともなっています。

坂戸合気会は7月5日の「第33回埼玉県合気道連盟合同講習会」に初めて参加させていただきました。植芝充

央道場長のご指導による稽古、また他道場との方との稽古は、外部との交流の機会が少ない坂戸合気会会員にとって大変有意義なものでした。

今後、坂戸合気会が埼玉県合気道連盟に加入させていただいたことにより、埼玉県合気道連盟発展の一助となれば幸いです。

（岩切光作）



【南埼玉郡宮代町】 志念会

この度、平成27年度第33回定期総会におきまして、各代表者の方々から加盟承認を得て、連盟に加入させていただきますことができました。ありがとうございます。

当会は、東京理科大学Ⅱ部合気道部に昭和61年度入部した同期生が中心となり、大学を卒業して社会人になっても合気道を続けていきたいという思いから、同門諸兄の協力を得まして、発足致しました。

故飯村郁男先生（合気会本部師範



八段位）に「志念会」と会名を付けて頂き、平成5年に設立してから今年で22年が経ちました。

主たる稽古場であった東京都墨田区旧体育館から、平成11年に活動の場を埼玉県南埼玉郡宮代町に移し、今年で17年目になります。埼玉県立宮代高等学校柔道場を主たる道場とし、毎週日曜日の9時～13時までを定例稽古会としています。所属する会員も時とともに変わりまして現在では、埼玉県内在住の社会人を中心とした20代～60代の方々が稽古をしています。現在の東京都墨田区総合体育館においては、特別稽古会と称して、同門との合同稽古会も実施しています。

年間の活動行事としては、毎年5月に開催される全日本合気道演武大会に出場し、6月には上部団体である城南合気会主催の夏合宿に参加しています。また、12月には演練会に参加し演武をしています。

会の特色としては、合気道の他に杖道及び居合道を必修武道としてあります。多武道を習得する事は、武器との間合いの研究のためにもありますが、総合的に修行するという考えによるものです。合気道修行の際にゆきづまれば、剣の動きや杖の動



きに活路を得て、互いに幹となり枝となるものと考えております。また、合気形（徒手二本、銃剣捕り二本、太刀捕り二本、銃剣捕り二本の合計八本）の稽古もしています。合気形とは、陸軍戸山学校発行の「剣術教範詳解 徒手格闘形八本」を開祖が合気道らしく手直しした形です。故飯村郁男先生は、開祖から伝えられた形である合気形を「御自身の室」としていました。

受け継がれた合気道を次の世代に繋ぎ、役割を果たすべく、志を念じて修練しています。

（関根進緑）

【所沢・入間・狭山・川越市】 合気道大島道場

本年度「埼玉県合気道連盟」の承認を受けました「合気道大島道場」です。

平成20年3月、所沢市の西武池袋線「狭山ヶ丘駅」からほど近い商店街や住宅街の一角にあったプレハブを改装して開設した道場が「合気道大島道場本部道場」です。他に入間市豊岡の「入間道場」、狭山市入曾の「入曾道場」、川越市下老袋の「川越道場」の計4道場で、子供会員・一般会員の皆さんが稽古に励んでいます。

子供クラスの指導では、礼儀はもちろん、返事や挨拶等も大きく元気を声で気持ち良く、技や補助運動でもあきらめず最後までやり切る力を引き出しています。これはたとえ3～4歳の小さな子でも、甘えさせず大きい子達と変わりなく指導しています。便利で面白い物が何でも簡単に手に入るような今の時代は、本来持っている無限の力を封じ込めていると感じてなりません。楽になればなるほど、何かをやり遂げる努力や



自信、高揚する感情など湧きません。当道場の稽古では、自分自身で頑張る力、友を大切にすること喜び・自信を養うように指導しています。高学年の子には小さい子の面倒を見させそれを褒めてあげる。世話になった子には感謝に気持ちを持たせる。すると次に新しい子が入って来ると自然に自分から同じように面倒をみるようになります。「子供だから」「まだ小さいから」という考えは無用です。入会半年の4歳児がその日入った2年生に「ここに正

座だよ」「後ろに並んで」と教えてくれます。学ぶ力と喜びがあるので。当道場で実施している合宿では、顕著にこれが現われます。技では、一般と同様剣や杖・短刀を使った技も教えます。子供は新しい事を見たり覚えたりすることが大好きです。稽古は厳しくて、楽しくなければいけません。基本に忠実、姿勢正しく雑にせず、しかし細か過ぎないように教え、一般クラスに移行した後も自信を持って稽古出来ることを心掛けて教えています。

一般クラスでは、合気道と言う武道の中心でもある「和の精神」に基づき、男女・年齢（当道場で小学生でも希望者は一般クラスで一般の技を指導しています）・級段に関係無く稽古に精進してもらっています。時には優しく時には厳しく、基本・正しい姿勢を念頭にメリハリのある合気道を指導しています。小学生もいますので上級者が小柄な子供と組むことがあります。本当にその技を修得していなければ決して子供は動きません。子供と侮り

過信すれば恥をかきます。力を抜きしっかり技を修得していればこそ、相手は崩されて受身をとらされます。年齢に関係なく同じ稽古場で稽古している最大の利点です。年月が立てば級も段も上がりますが、それと上手になった事とは全く違うのです。受身の分らない初心者や子供と稽古出来る事で、自分の未熟さに気づき精進することに繋がる稽古場だと思っています。

闘いが無く老若男女・年齢の区別が無い者同士で切磋琢磨する、他に類の無い武道が合気道。ただただ一生懸命日々鍛錬し続けた人が必ず上手になり、姿勢正しい華麗な合気道が出来るようになると思います。

子供・一般クラス共に、仲良く楽しく稽古相手を重んじ尊重し、己の向上の為に一生懸命稽古をしてみんなが上手なつてもらえる事を願い日々指導しています。

これからも、様々な稽古を楽しんでいきたいと思っています。時間が許すようであれば皆様にも稽古にご参加頂けたらと思います。まだ8年に満たない道場ではありますが、今後とも宜しくお願致します。

(大島博久)



【加須市】 大利根合気道同好会

この度、埼玉県合気道連盟・平成27年度総会に於いて加盟承認いただきました大利根合気道同好会です。本会は、埼玉県北東部に位置する加須市、近くには利根川が流れており、また田園風景が広がる自然が豊かな地域にあります。会の名前は、旧大利根町に由来しております。

指導者が東京都の教員で有るため、東京都の学校が隔週5日制になった1995年4月に、その休日となった土曜日を有効活用して設立いたしました。当初は、第二と第四土曜日の午前中に活動していましたが、2002年に学校5日制になったからは、月に4回土曜日の午前中に活動しています。

合気道はまず相手を受け入れるところから始まると考えております。武道でありながら、相手を抹殺してしまうのではなく、一度は相手を受け入れ、考え方も動きも相手に添うてみる。その後は相手の出方次第で、その考え、動きを瞬時に察知して相手の暴力のみを制する。そして最

終的には相手と和合することも可能になる。このようなことは他の武道にはない、合気道のすばらしい理念だと思えます。

稽古では相手を痛めつける方法を学ぶ事を目標にするのではなく、相手との出会いの部分で合気道独特の技でどのように処理するか、という事を大切に指導しています。

実社会に於いて他と意見や方法が対立する事などはよくある事ですが、合気道の理念をしっかりと学んでいけば、相手を打ち負かさずとするのではなく、まずは相手を受け入れる事を考え、一度は相手と同じ方向に立ってみる事により、相手と共にさらなる高みを目指すことも可能です。会員も少なく、小さな会ではありますが、真の合気道の心を学んで行きたいと思っています。

(中森 健治)

【日高市】 日高市合気道同好会

このたび、新規加盟を承認いただき、県連の活動に参加させていただくことになりました。ご指導ご交流

のほど、よろしくお願いたします。

私たちの道場は、県西部に広がる奥武蔵山群の麓にあり、西武秩父線の玄関口に当たる飯能市に隣接しています。このため、会員の約3分の1は飯能市民です。

私たちの会は平成10年に活動を開始し、今年で17年を経過しました。

現在の会員数は、少年部25名、一般部32名、計57名です。うち、女性会員は17名です。

稽古会場は、①日高市立ひだかアリーナ多目的室(畳50枚使用)と、②日高市立武蔵台公民館多目的ホール(持込みムレタンマット88枚使用)の2施設です。

稽古時間は、①毎週土曜日午前から午後、②毎週土曜日夕方、③毎週日曜日午前の週3回です。

私たちの日常稽古では、稽古時間の前半を、子供と大人の会員が一緒に稽古する時間帯としています。子供と大人が組み合っ一緒に稽古することをとおして、それぞれの年代が持っているよい物を、お互いに交換できたらと思っています。

後半の稽古時間は、中学生以上がそのまま残って稽古をします。中学生にとっては大人社会での第一歩になりますから、大人会員や先輩会員

平成26年度全日本少年少



が、中学生や若い会員を大事に引き上げてやる場になったらいいな、と考えています。最後の稽古時間は、もう少し密な稽古をしたいな、という会員のために、延長稽古の時間としています。

私たちの会は発会以来、全日本合気道演武大会と全日本少年少女練成大会に、毎年参加してきました。参加した会員が、本部道場や全国の指導者の演武にたくさん触れることによって、合気道に対する意識が深まることを期待しています。

また、日頃の稽古や技の方向性が正統な道から外れないようにするた



(横内 敬幸)

めには、本部道場から指導者をお願いすることが欠かせないと考え、発会当初から、定期的に鳥海師範に指導をしていただいています。

私たちの会は、このような稽古を通して、合気道をやりたいと思う人が、いつからでも始められ、幾つになっても続けられる。場所でありたい。と念じつつ、活動を続けております。

【春日部市】 合気道堀越道場

この度埼玉県合気道連盟に加盟させていただきました合気道堀越道場です。

当道場は平成14年に埼玉県春日部市に会員の皆様がいつでも自由に稽古でき、日本古来の合気道を次の世代まで伝えられるように100年使える合気道専用道場として、堀越道場長により設立されました。

通常は週2回の子供クラスと週3回の一般クラスの中で、和気藹々と稽古しております。年間の行事としては、年に3回の審査、全日本合気道演武大会への参加、一般クラス合宿、子供クラス合宿等を行っております。その他、毎年海外より研修生が2週間ほど道場に滞在し、合気道の修行をしながら会員の方々との交流を図っております。

海外での指導も、ロシア、イラン、アメリカ、ブラジル、トルコへ毎年若しくは隔年で行っております。

過去の周年行事としては、平成15年の1周年にて明治神宮武道場至誠館の名誉館長田中茂穂先生をお



招きし講習会を行ない、平成19年の5周年ではカナダ・トロント日系文化会館合気会の方々20名と合同演武会・講習会を行いました。

直近では平成25年の10周年で道主先生をお招きし講習会を開催いたしました。

当道場では一般クラスの指導は勿論ですが、子供クラスの指導にも特に力を入れております。基本技、受身、礼儀作法等を中心に指導を行なひまして、合宿等では自立性や協調性の向上を目指しております。最近では子供クラスから長く続ける子が



(堀越 春芳)

多く、毎年各大学の合気道部へ数名入部し、稽古に励んでいます。また昨年は外務省所管の「日露青年交流センター」から依頼を受け、高校生から40才までの約20名をロシア・サンクトペテルブルグに1週間派遣いたしました。

今後は、合気道の国内外への普及はもとより、埼玉県合気道連盟の皆様のお指導を頂きながら、国内の道場との交流も積極的に図っていきたいと思います。

今後とも宜しくお願い致します。

彩のなでしこ

N A D E S H I K O



合気道への想い

合気道桜道場 村田 泰代

初めて出会う合気道の世界は、まあるくまあるく、きれることなくつながり、思っていたよりずっと強く強く、それでいてしなやかに、とても綺麗でした。これは、合気道桜道場初心者教室の初回、藤田師範の演武を目の前にしたときの思いです。

合気道桜道場は、全員初心者教室から始めた人で、私は2期生。今は稽古をするのが、楽しくて嬉しくてたまりません。上手くなったというわけではなく、わからないから、楽しいという思いが強いかもしれません。わからないから、よく先生の動きをみる→真似る→学ぶ→“難しい”“上手くてできない”→よく見る のくり返しが、とっても楽しいのです。

今年は、合気神社にも初めて行かせていただきました。祝詞を唱えた後、神社に風が吹き、高い木々の葉がサーッといっせいに舞う中での道主の演武は、タイムスリップしたかのように神秘的でした。

また、佐久道場の講習会では、自分よりかなり大きい外国の方と緊張しながら稽古し、遠藤師範から、直接声をかけていただいて指導が受けられ、喜びでいっぱいでした。



さて、合気道を始めた頃、高校生だった娘は就職し、認知症の父は他界、大学生の息子は結婚し孫も生まれました。時は止まることなく流れ、家族は減ったり増えたり…周りの物も仲間もずっと同じものなんてひとつもない、とつくづく感じています。「大切なものは、目には見えないんだよ」『星の王子さま』の言葉です。目には見えないあたたかい輪(和)でつながっている不思議を感じながら、少しでも軽やかに、雲がゆっくり形を変えるように、時に忍者が目の前から姿を消すように、いつの日か私も藤田師範のように姿勢を全く崩すことなく、まあるくまあるくさばいて、綺麗で、かっちょいい！合気道のできる日を夢見て、まずは、一步ずつ、前に進みたいと思います。

※このコーナーでは県内の女性合気道家をご紹介します。白紙・他誌を問いませんので各道場よりのご応募をお待ちしております。

「彩の合気」への 投稿をお待ちしています。

- 道場行事報告 / 原稿 1,000文字、写真2点
 - 彩のなでしこ / 合気道への想いを原稿 800文字、写真1点
- ※画像はプリント写真もしくは写真1点あたり2MB以上のデータでお願います。画像解像度が低いと印刷に適合いたしません。(プリント写真はご返却いたします。)

応募は郵送またはメールにて

登録メールアドレス変更の際は 必ず事務局までご連絡ください。

連絡情報を伝達する手段としてご登録いただいておりますがご団体の登録メールアドレスですが、アドレスに変更が出た場合は速やかにご連絡をお願いいたします。特に下記の2例は、変更の連絡が忘れがちになりますのでご注意ください。

- 登録が携帯アドレスの場合、利用携帯電話会社変更があったとき。
- プロバイダーの変更を行ったとき。

〒352-0011 埼玉県新座市野火止 5-4-26
埼玉県合気道連盟事務局 佐々木淳一
メールアドレス sasaki@sainoaikei.com